安曇野市教育委員会 4 月定例会会議録

日 時；平成27年 4 月23日（木）午前 9 時30分

場 所；安曇野市役所本庁舎 3 階「共用会議室301」

出席者

教育委員：教育委員長 唐木博夫、委員長職務代理 宮澤豊弘、教育委員 内田洋子、
教育委員 須澤真広、教育長 橋渡勝也

事務局：教育部長 北條英明、生涯学習課長 蓮井昭夫、文化課長 那須野雅好、
図書館交流課長 高嶋俊明、学校教育課学校教育係長 藤澤一渡、
学校教育課南部学校給食センター所長 齋藤ゆう子

書記：学校教育課教育総務係長 大澤明彦、教育総務係 岩原遼子

◎開 会

教育部長 おはようございます。

それでは、ただいまから安曇野市教育委員会の平成27年度 4 月定例会を開会いたします。

なお、本日、古幡学校教育課長でございますが、身内で不幸がございまして欠席でございますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

◎教育委員長挨拶

教育部長 それでは、唐木委員長からご挨拶をお願いいたします。

委員長 おはようございます。

いよいよ平成27年度がスタートしておりますけれども、本日第 1 回の教育委員会会議が新しい庁舎の中で行われ、清新な気持ちが漂ってきます。子供たちのよりよい教育のため、それから、安曇野市の教育、文化・芸術の振興に向けて、また、本年度も力を合わせてやっていきたいなと思います、よろしくお願ひいたします。

年度の始まりですので、少しお話をさせていただきたいと思います。今私たちを取り巻く

環境、例えば美術館のことも、博物館のことも、図書館、スポーツ施設を含めてでありますけれども、いろいろな課題に対して判断を求められたり、また意見を求めたりすることがあるわけですが、私たち教育委員の仕事として情報を自ら得ていく、それから、現場を知る努力が必要ではないかと思えます。できるだけ都合をつけて現場を見て、自分たちが判断し、考えるときの材料をお互いに得ていきたいなと思えます。情報は当然のことではありますが、待っていて入ってくる情報と自ら求めなくてはいけない情報があるわけでありまして。やはり自ら求めていくということが大事かなと思えます。

二点目でありますけれども、学校教育にかかわってであります。主幹の学校訪問の方法が今年からA方式、B方式というような形で変わってまして、全学校を従来のように回るという方式が改められていきます。また、安曇野市の教育委員会としてどのような形で市教委訪問を受け入れるのか、また事務局の方で案を示していただきたいわけですが、主幹の学校訪問は学校と教育委員会が要請をするという形を今年もとっていくわけでありまして、学校現場に負担にならない範囲で、私たちも子供たちや先生方、それから、施設、設備の状況について見ていきたいなと思えます。繰り返しになりますが、現場を知らないで教育を語るということはなかなかできないわけでありまして、また委員の先生方にはそれぞれご都合をつけていただくことが多くなるかと思えますが、よろしく願いいたします。

本日16時35分から校長会との懇談会が予定されているわけですが、教育への信頼を深めていく、それから、教員の資質向上等々についていろいろな課題があるわけですが、校長会との相互理解がより進み、それがよりよい学校の運営、そして子供たちの育ちにつながっていけばいいかなと思うわけです。今日は1日の仕事になっていきますけれども、よろしく願いいたします。

以上であります。

◎発議による非公開案件の決定について

委員長 それでは、協議に入ります。

最初に、会議の公開、非公開について扱っていききたいと思います。

教育委員会会議については、地方教育行政法第14条第7項により教育委員会の会議は公開とする、ただし、人事に関する事件、その他の事件について、委員長または委員の発議により出席委員の3分の2以上の賛成で議決したときはこれを公開しないことができるとされて

います。

本日予定されている議題について、安曇野市情報公開条例第7条第2号による個人に関する情報で特定の個人が識別され、または識別され得るもの、個人の情報のほうに該当する報告事項として、報告事項（6）平成27年度児童生徒の区域外通学者について、（7）教育長報告について非公開とすることを発議したいと思います。

委員からのご意見、ご質問などありますでしょうか。

（「なし」の声あり）

委員長 それでは、なければ、議決に移りたいと思います。

報告事項の（6）、（7）について非公開とすることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

委員長 ありがとうございます。

3分の2以上の賛成がありましたので、議決されました。

それでは、本日公開する議案、報告事項として議案第1号から第11号まで、報告事項の（1）から（5）まで、非公開とする報告事項として（6）、（7）といたします。

協議、報告の順番もただいま申し上げた順で行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎協議議案第1号 安曇野市教職員住宅管理規則の一部改正について

委員長 それでは、協議に入ります。

学校教育課教育総務係長 「安曇野市教職員住宅管理規則の一部改正について」内容、住宅名称、様式の改正を資料により説明。

委員長 議案第1号について説明をいただきました。

委員の方からご質問、ご意見等ありますでしょうか。

ちょっと細かいところですが、私の方からよろしいでしょうか。

1ページ、説明のところの（2）別表①、次の教職員住宅について、「同じ名住宅称」のところは、これは「住宅名称」の誤記ということよろしいですか。

学校教育課教育総務係長 はい、申しわけございません。

委員長 「住宅名称」の誤記であるということですね。

それから、もう一点確認であります。6ページの意味がよくわからないのですが、以前もこうだったと思うのですけれども、修繕等何らかの理由により自分でできない場合には教育委員会までご連絡くださいという、この自分でできないという意味はどういう意味でしょうか。

学校教育課教育総務係長 修繕の何らかの理由というものについてですが、業者手配をしなければいけないものやそういったケースについては教育委員会の方を通じてお願いしているという実態がありますので、そのような含みがあるという解釈をしていただければと思います。

委員長 要はまさに自分の手でもってできないという、非常に限定的な意味ということですね。

学校教育課教育総務係長 ええ。また、あくまでも所有者は市でありますので、相談いただくという部分のところで記載をさせていただいております。

委員長 わかりました。

それでは、第1号議案について、特に異議なしということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 それでは、異議なしということであります。これに沿って進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

◎協議議案第2号 安曇野市学校給食費会計事務処理規程の一部改正について

委員長 続いて、第2号議案、お願いいたします。

学校教育課南部学校給食センター所長 「安曇野市学校給食費会計事務処理規程の一部改正について」様式の改正を資料により説明。

委員長 返金、返却について明確にしていくということですね。

学校教育課南部学校給食センター所長 はい。

委員長 それでは、ご質問、ご意見をお願いいたします。

ちょっと私から一ついいですか。

13ページなのですが、個人的な感覚も含まれているので、もしこれが正式な市の様式であれば構わないわけですが、日額¥、掛ける実食数、イコール¥、円マークがこのような様式の中に出てくるというのは一般にほかの形式でもよくあることでしょうか。

学校教育課南部学校給食センター所長 ちょっと調査不足ではっきり断言ができないので申しわけございませんが、こちらの方はあまり見かけないのではないかと考えますが、金額と実

食数が間違いないように表記をしたという、そういうことでございます。

委員長 また精査してもらえたらと思いますが、やはり日額、何円、実食数、何食、それで何円というような形のものの方が感覚的にいいような気がします。ちょっと違和感があるのですが。

学校教育課南部学校給食センター所長 わかりました。検討させていただきます。申しわけございません。

委員長 よろしく願いいたします。

そうすると、委員の方々のご意見をいただきたいと思いますが、基本的にはこの方向で返金については処理をしていただいってもらって、細かな部分については事務局の方で責任を持って精査していただき、またご報告いただくという形でもよろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、基本的な方向についてはこれで進めていただいて、細かなところについてはもう一度確認し、どのようになったか、決定事項をまた委員会の中でご連絡いただきたいと思えます。

学校教育課南部学校給食センター所長 わかりました。

委員長 それでは、基本的な方向については異議なしということですので、この方向で進めていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

◎協議議案第3号 安曇野市公民館活動推進功労者表彰要綱の制定について

委員長 続きまして、議案第3号、お願いいたします。

生涯学習課長 「安曇野市公民館活動推進功労者表彰要綱の制定について」資料により説明。

委員長 内容変更はなしで、規定を要綱に改めていくという趣旨の提案であります。

委員の方からご質問、ご意見をお願いいたします。

(発言する者なし)

委員長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、異議なしということですので、この方向で進めていただきたいと思えます。

◎協議議案第4号 安曇野市公民館長選考委員会設置要綱の一部改正について

委員長 続いて、第4号をお願いいたします。

生涯学習課長 「安曇野市公民館長選考委員会設置要綱の一部改正について」内容の改正を資料により説明。

委員長 第4号について、ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

質問、よろしいですか。

任期についてなのですが、この2年というのは公民館長の任期と一致しているわけですね。万が一なのですけれども、途中で公民館長に事故があった場合には選考委員会の立ち上げについては遅滞なく行われていくという解釈でよろしいわけですか。

生涯学習課長 公民館長の任期につきましては、前任者の残任期間という縛りが今までなかったというところもございまして、1年ごとの任命等をこの前委員会等でもお話を差し上げているところがございます。今回の選考委員につきましてはここにあります充て職と申しますか、決まった方でございますので、その場合が生じた際に委員としての委嘱を行いながら選考を行っていくという形で間に合うと思っております。

以上です。

委員長 再委嘱をするということですね。

生涯学習課長 はい。

委員長 ほかの委員からいかがでしょうか。

須澤委員。

須澤委員 区長会が会長と副会長になったところ、区長会が今度は大きく出るようになってきたと思うのですけれども、副会長が明確になってない区もあるのではないかという気もするので、確かめをしておいていただきたいと思います。

生涯学習課長 地区の区長会でございます、例えば穂高地区の区長さんがお集まりいただいている中の会における会長、副会長でございます。各地区の区長会につきましては副会長さんが複数名おいでになる実態もございまして、各地域区長会にどなたかを指名していただくように委嘱をしまして、その方に指名するという形で進めていきたいと思っております。

以上です。

須澤委員 わかりました。

委員長 ほかにいかがでしょうか。

どうぞ。

宮澤委員 このところ、いろいろ安曇野市というようなものを改正してありますけれども、タイトル自身が安曇野市公民館何とかとなっている以上は、加えてこの中に安曇野市と加える必要があるのかどうか、お尋ねしたいです。

生涯学習課長 内容の中にある場合につきまして、例えば安曇野市教育委員会を（以下「教育委員会」という）というような謳い方等がされている場合につきましては問題ございませんが、最初につきましては正しい名前等を表記した方がいだろうという専門部署等からの指摘を受けまして、このような形の改正をお願いさせていただいております。

以上です。

委員長 安曇野市の決まりではあるが、盛ったほうがいいところは盛っていくということですね。宮澤委員、よろしいでしょうか。

宮澤委員 はい。

委員長 ほかにいかがでしょうか。

それでは、要綱の一部改正ということになりまして、選考委員会のメンバーも変わっていくということではありますが、この方法で進めていただけてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

委員長 それでは、異議なしということですので、これで進めていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

◎協議議案第5号 安曇野市人権教育推進委員の委嘱について

委員長 続いて、議案第5号、お願いいたします。

生涯学習課長 「安曇野市人権教育推進委員の委嘱について」選任委員の承認を資料により説明。

委員長 これは全部2年任期の2年目の方々になりますね。

生涯学習課長 そうです。2年の方なのですが、区の中の役員の方が変わられるということです。

委員長 それでは、人権教育推進委員の委嘱であります。辞任に伴い、補欠委員を委嘱するものということでもあります。

ご質問、ご意見をお願いいたします。

(発言する者なし)

委員長 よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 それでは、異議なしということですので、事務を進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎協議議案第6号 安曇野市人権教育指導員の委嘱について

委員長 続いて、議案第6号 安曇野市人権教育指導員の委嘱について、お願いいたします。

生涯学習課長 「安曇野市人権教育指導員の委嘱について」選任委員の承認を資料により説明。

委員長 人権教育指導員についても任期の途中ではあるが、補欠指導員として補充していくということでもあります。

ご質問、ご意見等お願いいたします。よろしいでしょうか。

どうぞ、須澤委員。

須澤委員 この方々で結構でございますが、2年目なのか、1年目なのかというところがちょっと不明なのですが。

生涯学習課長 指導者の任期につきましては2年でございます。ですので、前年の4月にお願いした中から1年間やっていただいた形で、退職といたしますか、離任される方がこの方々の前の方々です。今回、その前任の方の残任期間、1年になりますが、この7名の方でお願いする形になるものでございます。

以上です。

委員長 残任期間ということで1年間、平成28年3月31日までということですね。

生涯学習課長 はい。

須澤委員 わかりました。補充指導員のみということですね。フルメンバーが載っていないので、よくわからなかったのですが、承知しました。

委員長 それでは、補充者について、これでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、これで補充していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎協議議案第7号 安曇野市スポーツ推進委員の委嘱について

委員長 続きまして、議案第7号になります。お願いいたします。

生涯学習課長 「安曇野市スポーツ推進委員の委嘱について」選任委員の承認を資料により説明。

委員長 ありがとうございます。

中山一彦さん、名簿番号24を補充したいという提案であります。

ご質問、ご意見をお願いいたします。

(発言する者なし)

委員長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、異議なしということですので、これで進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎協議議案第8号 安曇野市文化財調査委員会委員の委嘱について

委員長 続きまして、議案第8号についてお願いします。

文化課長 「安曇野市文化財調査委員会委員の委嘱について」委員の任命を資料により説明。

委員長 文化財調査委員会委員の委嘱であります。ご質問、ご意見をお願いいたします。

(発言する者なし)

委員長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、異議なしということですので、これで進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎協議議案第9号 共催・後援依頼について

委員長 続きまして、議案第9号の共催・後援関係に入ります。お願いいたします。

生涯学習課長 「後援依頼について」資料により説明。

No. 206 チームラボ！未来の遊園地

株式会社テレビ信州より後援申請

No. 20 スプリングカップ

豊科ミニバスケット（スポーツ少年団）より後援申請

委員長 それでは、後援依頼ということで2件、担当課の方では可であるということでありませう。34ページのスプリングカップのところの申請書ですが、これは後援申請の印がついていないということによろしいわけですね。

生涯学習課長 すみません、後援申請ということをお願いしたいと思います。

委員長 その下の欄のところの共催申請先名に安曇野市教育委員会が入っていますが、これはどのような形になりますか。

生涯学習課長 すみません、私の方で聞いておりましたのは後援という形でございますが、これにつきましては共催なのか、もう一度確認、今確認等を取りまして会議終了までには報告したいと思います。

委員長 共催ですとちょっと趣旨が違うかなという感じもいたします。では、スプリングカップについては確認していただいて、そこで検討したいと思います。

「チームラボ！未来の遊園地」の後援についてはいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

委員長 こちらについては承認ということをお願いいたします。

続きまして、お願いいたします。

文化課長 「後援依頼について」資料により説明。

No. 5 講演会

三郷郷土研究会より後援申請

委員長 三郷郷土研究会による講演会ではありますが、これについてはいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

委員長 特に問題ないということで後援を決定したいと思います。よろしくお願いいたします。

◎協議議案第10号 安曇野市立学校通学区域の見直しについて

委員長 では、第10号に移りたいと思います。

学校教育課学校教育係長 「安曇野市立学校通学区域の見直しについて」資料により説明。

委員長 大変短期間のうちに5回の審議を重ねていただいて、そして丁寧な対応を進めていただいたと思います。

まず、ここで確認をお願いしたいことではありますが、今日の教育委員会としましてはこの答申書を受けるという段階で決定事項にしてよろしいのか、それとも、この答申書に書かれ

ている内容について通学区を変更するように事務方で詰めていただくというような形のところまでもっていくのか、今日の会の答申の扱いについてはどのように考えているのか、教えていただきたいと思います。

教育部長 答申が出ましたので、これについて、これを受けるかどうかをまずご決定いただきたいと思います。

その後の穂高東中学校、上原地区については通学区域の変更という答申でございますので、決定をいただければ、それに向けて様々な手続をしまいたい、こういうことでございます。

委員長 わかりました。

それでは、今日の議題といたしましては、この答申書を教育委員会として受けるかどうかという部分について最初に決定をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、もう一度確認をしていきたいと思っておりますが、答申書の中で、まず上原地区につきましては穂高西中学校の通学区であったわけですが、これを穂高東中学校の通学区に変更する。それから、附帯事項・附帯意見がついておりますが、狐島地区については現状の扱いでいくという、内容的にはそういう形になろうかと思っております。

委員のほうからご質問、ご意見等をお願いいたします。

内田委員 上原地区のほうはこれでよろしいかと思っております。

狐島地区については、毎年通学区域変更の生徒が結構いると思うのですが、狐島地区にお住みの今後中学校へ上がるお子さんをお持ちの親御さんがどのような考えを持っていらっしゃるか、わかる範囲でお願いします。

学校教育課学校教育係長 それでは、別添の資料の後半部分になります。別添の通学区域に係るアンケート調査結果という、こちらの方をご確認いただければと思います。つきましては審議会の議論の中で、現在上原地区、狐島地区の小学校1年生から中学校3年生までお持ちの保護者の方に対しましてアンケートを取らせていただいております。

実際に狐島地区につきましては、児童生徒の方からのご回答の中に、もともとの人数が少ない中で、現在穂高西中学校の方に指定校変更されているというような状況も見えてまいりました。その中におきまして、こちらの方で見させていただいている中では、やはり小学校からの友達と一緒に上がりたいという意思を尊重されているご家庭、または、狐島地区につきましては穂高東中学校の方が通学距離等近いということがありまして、穂高東中学校を選択され、また新しい環境の変更でお子さんを育てたいというお考えの保護者の方々と意見が

分かれるところではございますので、今回審議の中におきました現在の状況を今の段階では続けさせていただいて、今後状況の変化等が出た場合に対応させていただきたいというところの附帯意見を審議会で出されているものかと思えます。

以上です。

教育部長 若干補足をさせていただきますけれども、上原地区についてはここ数年、実質的には100%指定校の変更ということで、審議会の中でも変更でいだろうという答申の内容の説明がありました。

狐島地区については、やはりそうは言っても全ての皆さんが指定校変更しているわけではない中で、例えば小学校の通学区域の見直しもどうなのかというようなアンケート結果中にはございました。4月21日に行われた審議会の中でも、地元にお住まいの審議委員さんがいらっしゃる中では、児童生徒の減少の状況や、またどうしても穂高東中学校と穂高西中学校に分かれると、PTA活動や通学路の除雪、いろいろな大変さなど、そのような課題がございます。そうは言っても、穂高西中学校ができたときにこのような通学区域の設定をしてきた経過もいろいろあるものですから、いわゆる就学指定校の変更だけではなくて、児童生徒の減少や様々な要因の変化等があれば、通学区域の変更、また、そこで審議をしていただきたい、検討していただきたいという、答申の内容の状況等の「等」にはそのような意味合いも含まれております。

おととの会議でもそこは議事録としてしっかり残していただくということでこのような答申の内容になっておりますので、単純に指定校変更だけの状況の判断ではなく、いずれにしても様々な要素要因を十分検討していく時期が、そんなに遠くないところでまた言うていく必要があるのではないかと、そのような意味も込めての附帯意見をいただいているという状況でございます。

委員長 ありがとうございます。

須澤委員、地元の関係委員であります、もしお考えやご意見等ありましたらお願いします。

須澤委員 ただいま部長さんの方からもご説明ありましたように、委員会の中に参加をさせていただきました。私は地元でありますので状況はわかっております。

統計によると、ここ10年くらい、上原地区からはほぼ100%近くが指定校を変更しているのですね。ですので、上原地区はその状況に鑑みて指定校を変更するのが妥当だろうと私は申し上げたわけです。

一方、狐島地区につきましては、この5年の中の統計を見ますと非常に数字が変更しているのですね。ここに数字がはっきり見えてないけれども、5年間の数字が極端に違う、だから、確定できないということで、今後の状況変化に対応するという、こんなことになったと思います。

11ページですが、狐島地区の親御さんの回答の中に、ページの上から3、4行目、穂高東中学校の方が近いから穂高東中学校に通えばいいとも思うが、遠い穂高北小学校へ通っていて、友達も多いので子供が希望する学校を選べる方がいい、とあります。昔は親が決めているのが多かったのが、最近は子供中心になってきているということで、やはり子供の友人関係によって毎年数が変わるのが狐島地区だなというのが印象でした。ですので、大部分の委員さんがそういった現状に鑑みてこんな答申でいこうではないかというふうになったと了解をしております、このような方向でよろしいのではないかと私は思います。

委員長 ありがとうございます。

宮澤委員、議論を聞いていて、通学という問題で微妙なところがありますが、ご意見がありましたら、お願いします。

宮澤委員 この関係につきまして、やはり地元の保護者あるいは児童の考え、それを尊重して変更した方がいいということで、私は答申のとおりでいいと思います。

ただ、ここにもある、附帯意見としては狐島地区の関係も触れておりますけれども、そのところについてはアンケートの結果を見る限りは小学校の方からも狐島地区は見直せということも触れておりますので、もう少しいろいろ詰めていただいて、それで将来の教室の空き具合、人口の増減の具合、そのようなところも見て地元の人たちが検討をしていただければいいと思います。

以上です。

須澤委員 よろしいですか、追加でございます。

私は事務局方にも申し上げたのですが、やはり教育委員会が決めるべき内容でございますので、教育委員会が主体性を持って決定をするという姿勢は明確にしていくべきだろうと思います。希望をお聞きするのは宮澤委員さんのお話にもありましたように主体でやるわけですが、前回通学区を教育委員会が決めたという、それも1つの方策だったと思います。ですので、教育委員会の主体性というものはきちんと維持しながら、「等」というところもやや範囲が広くなりましたけれども、ぜひお願いしたいです。

それから、穂高西小学区は今住宅がどんどん増えていますから、穂高西小学校の児童数は

減ることはもう絶対ないと思います。ここ何年か、若い世代のお家が増えているのですね。上の農道から下の地域に増えていますから、穂高西中学校へも当然影響もしていくだろうし、人口的にはあの辺りは増えるという状況がありますので、変動はかなりあるかと思いますが、その辺の全体像を見られるのは教育委員会だと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長 橋渡委員。

教育長 答申についてはこのとおりにお願いしたいと思っております。

この審議を通じて深く考えたことは、私も穂高北小学校、穂高西中学校に勤めさせていただいて、まさにこの問題については常に直面はしていたわけですが、少し以前のことになるものですから、そのころは今回のアンケートにあるような一人一人の気持ちがこのようになってきているのかと、今回そのことを知って考えていかなければいけないということを非常に深く感じております。

というのは、例えば穂高西中学校、穂高東中学校は穂高中学校の大規模解消という中に、生徒指導上の問題も多く抱えていたこともあって、毎年学級編制変えということを打ち出して10年余り続けてきましたが、やはりそのことが子供たちに非常にストレスや不安を大きく与えていたというのは今回のこのアンケートでクローズアップしてきております。そのようなことを考えると、この通学区の答申はこのとおりなのですが、狐島地区においては、特にほかの安曇野市の学校の多くが小学校から同じ仲間の中で引き続き中学校へ行けるという環境の中で、狐島地区だけ非常に少人数で全く知らない集団に飛び込むという、その不安を抱えなければいけないという思いを一層強く抱くのではないかと、そのように感じます。

そのことから、これからご承認をいただいて、事務局として地域、あるいは保護者、児童生徒に説明をしていくわけですが、特に狐島地区についてはその辺りを丁寧に説明していくとともに、先ほど須澤委員さんがおっしゃるように、私たちの教育委員会としての姿勢もしっかりと持っていかないと、その時々希望に沿ったというような形だけではなかなか信頼を寄せていただくわけにいかなくなる事情もあるかなと、そのように思います。ですので、一層責任が重いなということを感じております。

以上です。

委員長 ありがとうございました。

それでは、委員の意見をまとめていきますと、この答申書についてはこれを受け入れて実務的なところに入っていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ただ、昨日資料をいただきまして中身を読んでいきますと、アンケートのところを含めて

であります、上原地区についてはほぼ問題なく動いていこうと思うのですが、特に狐島地区については親の考え、子供の考え、また、地域の考えが、かなり複雑な様子などの思いがストレートに伝わってきております。今、教育長からの話もありましたが、これは何らかの形で返していくわけですが、特に狐島地区については丁寧な返し方を工夫していく必要があるかなと思います。教育委員会決定であるという、その一言だけで行うことができるのかどうか、その辺りもぜひご検討いただいて、そしてまた特に狐島地区については、どのような形で保護者の方へ説明責任を行ったかどうか、また機会があれば報告していただければありがたいかなと思います。

それで確認であります、平成28年度入学生から適用ということでもよろしいわけですか。

教育部長 現在のところ、そのような予定で進めたいと考えております。

委員長 わかりました。

それでは、この答申に沿って、あとは事務的な詰めをよろしくお願ひしたいと思ひます。

◎協議議案第11号 教育委員会制度改革の対応について

委員長 では、続きまして、議案第11号になります。お願ひいたします。

教育部長 「教育委員会制度改革の対応について」資料により説明。

委員長 今、教育委員会制度改革の対応についてということで部長の方から説明がありました、確認をしておきたいことが幾つもあるわけですが、一つが総合教育会議の開催については教育委員会事務局が補助執行をしていく。それから、5月27日ですね。

教育部長 また後ほど日程等のところでお知らせをしたいと思ひますが、今のところ5月27日の午前10時から、第1回の総合教育会議ということで今市長部局の方と日程の調整をさせていただいているところでございます。

委員長 総合教育会議が早急に持たれていくということ、それから、教育大綱について内容の検討はこれから進めるわけですが、今年度内に大綱に相当する、位置づけられるものを策定していきたいというお話がありました。

これに沿って教育委員会として、総合教育会議は公開、それから、議事録作成等々行われていきますので、それを踏まえて私たちも準備していかなくてはいけないわけですが、今後さらに議論を詰めていかなくてはいけないというような段階にあります。そして時間もスピーディにやっつけていかなくてはいけないところもあるということですが、また後ほどお諮りし

たいこともありますけれども、今の部長の説明について、ご質問やご意見等ありましたらお願いいたします。

宮澤委員 今、部長の方から説明がありましたけれども、新制度が4月1日からスタートしたということで、非常にいろいろ言い回しが、ある面では急いでいるし、ある面では各自治体に、教育委員会の方に任せるといような言い方でつなげてありますけれども、本音はどこにあるのかと感じます。私も今こうやって考えてみますと、安曇野市の場合は、去年の11月に委員長が改選され、その前に教育長が新任になった、このような経過があつて教育長の任期のある限りはまだいいのかなという思いもございます。そしてこの近隣の松本市辺りの状況を見ますと、もうそういうことは抜きにして4月からスタートしております。そのようなことを考えますと、安曇野市が首長の考え方も踏まえて一体本音はどこにあるのかなと思います。

今までの教育委員の選出の仕方も各5地区からなされていたのですが、それも合併以来の引き継ぎでそうなってきたと思いますけれども、既にそういう形が崩れているというようなこと。それと私も任期が1年と半分くらいになりますけれども、委員さんの任期が毎年来ているというような状況もあるものですから、新しい制度を切り替えるときにはそれなりの方向を示していただく中で考えなければいけないのかな、そんなことがあります。自分でもよく勉強もしてありませんけれども、そこの考え方については今の事務局の本音、そんなところもちょっと聞かせていただきながら、今後のこの問題についてお話をしていた方がいいのかな、こんなように思っております。

そのところ、ある程度時間も限られた中で検討しなければいけないということもありますので、いろいろの案があると思います。幾つか例を挙げていただく中で自分たちもそれなりに検討していきたいなと思っております。そのようなことが今の気持ちであります、よろしく申し上げます。

教育部長 私どもに今案があるという状況ではないという、これは事務局として案ということではないのですが、一つは、いずれにしましても教育に関する大綱の策定はしなければいけませんので、これは平成27年度中に、ということで総合教育会議の中でというお願いをしたいと思っております。

もう一つは、新しい教育長制度への対応、この時期については、例えば長野市とか松本市等、四つの市でもう4月に切り替えをしたところもあるわけでございますが、これについては3月議会でも市長、議会の中で教育委員の皆さんなり、関係する皆様方と十分協議をして

いきたいということでございますので、今また宮澤職務代理がおっしゃいましたように、当然5地域から1名ずつだったのが、現在は地域だけを見ると明科がないというような状況もございますので、いろいろな検討の仕方があろうかと思えます。これについては市長、また理事者等、教育委員の皆様方の中で将来に向かってどのような形がいいのかということもぜひ意見交換をしていただければなと考えているところでございます。

ほかのところは、例えば年度でいろいろな委員さんのお願いをしていく中の一つとして、年度の切り替え部分の考えもあつたのではないかなという推測はされるわけでございます。安曇野市の場合は今11月のところで委員の皆さんの交代と選任をお願いしているということもあって、他市はそのようなことも判断の中に少しはあつたのかなという推測をしているところでございます。それらも含めて、ぜひまた市長の方とも意見交換をしていただければなと考えているところでございます。

須澤委員 今、部長さんからお話がございましたが、宮澤委員さんからもありましたように内容についてなかなかまだこれは明確ではないということでもありますので、そう拙速でもまずいというようにも思うところです。

近くの松本市の吉江教育長先生が3月でやめたわけですが、それまでの松本市の姿勢を見ると、市長さんも委員長さんも今までどおりでいいと言っていたのですよね。新しい、一本化するというのはそれほど賛成ではなかった。けれども、実質、教育長さんが3月でやめるという事態になったものですから、新事態が生じた、こういうことです。だから松本市がどういう大綱を作成されるのか、これはちょっと見ものだなと思って、市長さんの考えやそれから、新教育長さんの考え、その辺りはどのように打ち出されるのかなというのを私は興味を持って今見ているところです。その辺りも大いに参考になると思います。

宮澤市長さんもそれほど新たな体制に前のめりであつたようにはと私としては、失礼ながら、これまで思っていたものですから、そうは言っても始まりました。大綱作成がまずスタートですので、ぜひ意見交換をしっかりしながらやっていけばと思います。

それから、幼児教育の行動計画は、一貫性のある幼児の教育という、体制構築というのがこの項目に、当時の教育方針で決められております。幼保連携とあるので、この「幼」が教育委員会から移動されたのですね。だから幼保連携ができるのかという、ここはちょっと難しくはならないだろうかということも思っています。方向性はやはり小中をいかに連携していくかということではないかと私は思っておりますので、また、そのためには市長さん、副市長さんの大いなる予算づけもお願いしなければできない、こういうことも感じます。

現時点はその程度でございます。

委員長 内田委員、ございますか。

内田委員 教育委員会の事務局の方の業務の進め方で、スマートに進むような方向でまずご意見をいただいて、どのような形が一番いいのかということをお聞きしたいと思います。

委員長 それでは、いずれにしろ、部長からの報告の中で当面对応しなければいけないことや私たちとして準備しなくてはいけないこともありますので、5月27日を第1回として取ろうと準備が進められております。後ほど5月27日に向けてどのようにしていくかということを教育長報告の中でも扱われると聞いておりますので、今の部長からのお話をまた受けて具体的にどのように対応していくのか、この後の報告の中で少し、場合によれば事前の連絡会、勉強会なども必要なのかもしれないので、そのことについて話し合いを持ちたいと思います。この議案第11号のところでは事務局、教育委員会事務局が総合教育会議について補助執行を行う。総合教育会議を5月27日に第1回目を持つ。それから、教育大綱について策定をしていく。この二点のところを進めていきたいというようにしておきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 では、そのようにしたいと思います。

委員長 どうぞ。

生涯学習課長 先ほどの議案第9号、二つ目の34ページのスプリングカップでございますが、後援ということですので、共催申請先名欄に安曇野市教育委員会名が入っているのは誤記ということをお願いしたいと思います。

委員長 それでは、後援ということで承認してよろしいですね。

(「異議なし」の声あり)

委員長 では、そのように進めてください。

それでは、10分ほど休憩をとりたいと思いますので、後半は、11時ちょっと前から始めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(休 憩)

◎報告事項

(1) 後援依頼の教育長専決分の報告について

委員長 それでは、報告事項に入りたいと思います。

最初に、教育長専決分についてお願いいたします。

学校教育課教育総務係長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

委員長 過去承認ということであります。

続いて、お願いします。

生涯学習課長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

委員長 いずれも過去承認ということであります。

続けてお願いします。

文化課長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

委員長 それでは、専決について報告がありましたが、内容的にご質問、ご意見等ありますでしょうか。

(発言する者なし)

委員長 では、報告ありがとうございました。

(2) 学校教育課報告

委員長 続いて、学校教育課、報告をお願いいたします。

学校教育課教育総務係長 「平成27年度事業進捗状況報告について」資料を読み上げ。

委員長 学校教育課の報告についてご質問、ご意見等ありますでしょうか。

(発言する者なし)

委員長 二、三よろしいですか。

海外ホームステイ事業、お疲れさまでした。ありがとうございました。

多分今年度のものを見ればわかると思いますが、平成27年度事業もこれは平成26年度並みでしたか。

学校教育課学校教育係長 平成27年度事業につきましては参加人数を14人ということで、今事業の方を進めさせていただいております。

委員長 12人から14人ですか、わかりました。

それから、いじめ防止のための基本的な方針についての作成目標はどのくらいの時期を見えていますでしょうか。

教育部長 今年度の1学期中には作成したいというように今進めております。

委員長 ありがとうございます。

ほかはよろしいですか。

(発言する者なし)

(3) 生涯学習課報告

委員長 それでは、生涯学習課、お願いいたします。

生涯学習課長 「平成27年度事業進捗状況報告、安曇野市公式スポーツ施設整備計画のパブリックコメントの実施について」資料を読み上げ。

委員長 ありがとうございます。

生涯学習課の報告事項について、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。

(発言する者なし)

委員長 よろしいでしょうか。

ちょっと私からであります。公式スポーツ施設の整備計画を本当にご苦労いただいております。まとめいただいたということが伝わってくるわけですが、ハード面の整備について、例えば現状の分析と、それから、体育館なり建築していくというところにどうもギャップがあるというか、市民ニーズの高まりというようなことと、それから、つくっていかうというところに、もう一つ段差が大きいかなという気がします。そこで、もしご検討いただけたらということなのですが、この計画が非常にハード面の施設設備をつくっていくということであるわけですが、市民のニーズの中にはスポーツ文化や健康、またはスポーツ都市といった、そのようなソフト的な要素の充実ということもかなり読み取れていくわけです。それで施設を建設していくというのを、例えばスポーツセンターというような機能を持たせる施設になれば、市民のほうにスポーツ文化を振興していく、それから、例えば体力の問題であるとか、生涯スポーツの問題であるとか、今子供たちのスポーツ離れの問題とか、そのようなことも取り込んだスポーツセンター的な機能を取り入れるということも検討する余地はないかどうか、考えてもらえたらと思います。

というのは、この議論が、あまり深く読めていないのですが、例えばバレーボールコートが何面できる施設だよとか、何千人収容できる施設だよとか、バスケのコートが何面できる施設だよという、そのようなところにひどく傾斜して行って、ではそれがどのように市民益につながっていくのか、市民のスポーツ文化の向上に発展していつているのか。また、

今のスポーツ上の課題が解決していくのかというところがどうもあまりよく私自身読み取れなかった部分があったのですけれども、非常に力を入れてつくっていただいた整備計画案ですので、そのようなことも検討してもらえたらなという思いを感じました。

どうぞ。

生涯学習課長 今回スポーツ施設につきまして、公式スポーツ施設というところがいろいろ始まってきております。最終的に公式スポーツ施設というのは安曇野市における拠点施設を整備していきたいということをまず考えておりますし、また、そのほかの一般の今まである施設については市民が気軽にスポーツに親しまれるというところを設けてきております。また、ソフト面、センターとしての謳い方等につきましても、安曇野市はスポーツ振興計画をつくってございますし、その中にはいろいろスポーツをどう振興していくかというものを盛り込んでおりますので、それ等を融合しながら、今回のパブリックコメントのところにはソフト面が大きいものですからまだすぐには難しいかなと思っておりますが、その辺りの意見等をまた今後のスポーツ振興のほうに反映できればと思います。

以上です。

委員長 またいいものが出るようによろしく願いいたします。

ほかよろしいですか。

どうぞ。

須澤委員 63ページの社会教育担当の生涯学習推進費の事業でございます。安曇野検定は非常にいい事業だと思っておりますが、予算が3分の1くらいに減っている理由は何なのでしようか。

生涯学習課長 実は昨年度につきましては、安曇野の郷科書——郷という字を使いました「郷科書」というものの発行、作成等の関係で予算的には載しておりますが、基本的には検定の費用等は121万円くらいでおさまるといふものでございます。

須澤委員 わかりました。

委員長 ほかによろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

(4) 文化課報告

委員長 では、続いて報告を受けたいと思います。

文化課、お願いします。

文化課長 「平成27年度事業進捗状況報告について」資料を読み上げ。

委員長 文化課について、ご質問ご意見等ありますでしょうか。

(発言する者なし)

(5) 図書館交流課報告

委員長 続いて、図書館交流課、お願いします。

図書館交流課長 「平成26年度事業進捗状況報告、安曇野市新図書館基本計画について」資料を読み上げ。

委員長 ありがとうございます。

図書館交流課の報告についてご質問、ご意見をお願いいたします。

(発言する者なし)

委員長 よろしいでしょうか。

図書館基本計画報告書でありますけれども、大分読み応えのある中身でございます。当面すぐに手をつけなくていけない課題も明確に出ていて、安曇野市の図書館でかなりの蔵書等にしても問題になるところもあろうかと思っておりますので、ぜひ報告を受けたものを参考に、市民サービスが向上するようにお願いしたいなと思っております。

それから、学校図書館については非常に厳しい評価をいただいております、市の図書館との連携という辺りも話題にはなっていますが、なかなか手のついてない部分もありますので、学校教育課、館の横の連携も含めて検討していただいて、いい読書環境になるようにお願いしたいなとおもいます。

それから、子どもの読書計画についても本市はまだ手がついてないところがありますので、その点もご検討いただきたいなと思っております。全部はなかなか難しいところがありますが、ぜひ報告書を生かしていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(以下、非公開会議)

(6) 平成26年度児童生徒の区域外通学者について

(7) 教育長報告

(以後、公開会議)

(8) その他

委員長 その他のところになりますが、最近の新聞紙上における教育委員会関連記事の報告については、またご覧いただきたいと思います。

次回の日程でありますけれども、事務局のほうで5月26日9時30分からではどうかという案を出していただいておりますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育部長 いつも大体20日から下旬近くでやっているわけでございますが、毎回、定例会のときに次の月の定例会を決めているのですけれども、今年から市主催の校長会、月一という考えでやはり下旬くらいになるものですから、できましたら6月まで日程を決めていただければありがたいかなと思います。松本市は最初に年間で日程を決めているそうでございますので、できればある程度長期的な日程を調整させていただければなということでございます。

今回6月は、実は議会の日程がまだしっかり確定はしてございませんが、今の予定ですと6月24日、25日は議会が休会の予定ですので、その辺りでの日程をお願いするか、それか29日、30日辺り、この辺でいかがかなというところでございます。ただ、今日もし決めていただいても議会日程が変わってしまいますと、実はまた日程の変更はあるかと思っておりますので、その辺は皆様方でご協議いただければなと思います。

委員長 入れておくとしたら、24日か25日ですね。

教育部長 この辺りでできればお願いしたいというところでございます。

委員長 6月24日、25日辺り、不都合という方はいらっしゃいますか。

内田委員 何とも言えないです。

須澤委員 一応24日に入れておいてもらってください。

教育長 25日が校長会なのですね。

委員長 25日が校長会ですか。では、24日にしますか。

須澤委員 はい、とりあえずお願いします。

委員長 では、6月24日を候補日として、午前中でいいですか。

教育部長 今の予定では6月24日水曜日9時半ということでご予約をしていただければと思います。

委員長 それでは、よろしく願いいたします。

以上で用意されたものは終わりますが、最後に、2月定例会の会議録が出ておりますので、発言の趣旨や字句などで修正するところがありましたら、事務局の方に教えていただきたいと思えます。

それでは、お返ししたいと思います。

◎閉 会

教育部長 どうもありがとうございました。

以上をもちまして安曇野市教育委員会4月定例会を閉会といたします。

どうもお疲れさまでございました。